

子どもたちの意見をキャッチして、未来を応援！

鹿児島市 みらいトーク

子どもたちが将来にわたって夢や希望を持てる鹿児島市の実現に向けて、子どもたちが直接市長に意見を表明する場として初開催。市内の高校生10人が語った“あったらいいなと思う場所”や“不便に感じていること”などの意見をご紹介します。

【こども福祉課☎216-1260FAX216-1284】

私たちが思っていることを
率直に市長に伝えました！



住む人が
楽しいことを
増やしてほしい

- 若い人が楽しめる場所が少ない
- 若者向けのイベントが増えて、遊ぶ場所の選択肢が増えると良い
- スポーツができる場所や施設がもっと欲しい



- 鹿児島だと外国人と関わる機会が少ない。英語を実際に話せる場が欲しい
- 東京では、英語で接客しているお店も多く都会との格差を感じる



英語力を
身につける
機会がほしい

バスが
不便

- 平日朝の交通渋滞がひどく、通学に時間がかかる
- 図書館でもっと勉強したいのに、最終バスの時間が早い
- バスの便数が少なく、祖母が車を手放せない



- まち中にごみ箱が少なく、中央駅や天文館でのごみのポイ捨てが多いと感じる
- イベント後は特にごみが多いので、主催者側の対策が必要と感じる



街なかの
ゴミ

自転車
通学が
危ない

- 通学路に街灯がなく、暗くて怖い
- 草が生い茂っていて道が狭く、車とのすれ違いが怖い
- 道路が凸凹している箇所がある
- 自転車通行帯のある道路とない道路があり、走行場所に迷う



- 企業や大学生、社会人と交流する機会が少ない。職業の具体的なイメージが湧くようなイベントを増やしてほしい
- 学生が気軽に集まれる場所が少ない(料金の高さやアクセスの悪さ)



話せる場が
欲しい



日々の暮らしの中で感じていたさまざまな思いを、市長に直接伝えることができて良かったです。大好きな鹿児島が、もっと住みやすいまちになってほしいと思います

高校生の皆さんの、生まれ育ったまちを大事に思う強い気持ちが伝わってきました。若い皆さんに鹿児島市に住み続けることを選んでもらえるよう、全力で取り組みます



次のみらいトークは
中学生が対象です

期12月25日(木)14時～15時30分

定10人

申詳しくは市HPかこども福祉課☎216-1260FAX216-1284へ



親子で楽しめるイベントも開催！

こどもまんなかフェスタ2025

人気キャラクターとの撮影会やプログラミング体験、木育遊び場、子育て相談など

対小学生までの子どもと保護者

期11月9日(日)10～16時

所センテラス天文館ほか

料無料(一部有料)

問こども政策課

☎216-1514

FAX803-7628



ホームページ

市長からのメッセージ

本市では、特に若い世代の人口流出が顕著となっており、これからもまちの活力を維持・増進していくためには、未来を担う皆さんの“地元で働きたい”という希望を叶えるとともに、将来にわたって“住み続けたい”と感じてもらえる魅力ある生活環境や活躍の場を創出していく必要があります。

そのための取り組みの一つとして、今年度から、子どもたちが自分の意見を表明できる機会を新たに作り、私もその話し合いに参加させていただいています。

発想力豊かな若い皆さんが、毎日の通学や友達と過ごす時間などの中で気づいたまちの改善点や、まちの魅力が高まるアイデアは、本市が「若い世代、子育て世代に選ばれるまち」を実現していく上で重要なヒントになる

子どもたちの未来を応援し
暮らしやすくワクワクするまちへ

とともに、皆さんが鹿児島市のことを心から大切に考えていることを実感し、大変うれしく思いました。

未来を担う世代に選ばれるまちを目指すことは、多くの市民の皆さんにとっても暮らしやすく、ワクワクするまちづくりにつながるものと考えています。

そのようなまちの実現に向け、市民や事業者の皆さんのご協力をいただきながら、すべての子ども、若者の未来を応援する取り組みを着実に進めていきたいと思っています。



鹿児島市長 下鶴 隆央